



震災は予防対策でこそ、財産と命をまもれます 小竹ひろ子前都議

三月の第一回目のシンポジウムについて今週六月一日の土曜日に第二回目の震災シンポジウムが開かれます。これまでのとりくみについて、小竹ひろ子前都議に話を聞きました。

二回目の震災シンポジウムが四や五に評価ジウム(六月一日)でされている地域※が「木造密集地域の防災」がテーマですが、消防署や消防団をまわってお話ししてみたら、震災時にあちこちから火の手があがると対応しきれない、だからスタ...

「小竹ひろ子前都議」今回は、参加のよびかけでまわってみて、木造密集地域の防災への関心が高いことを実感しました。特に、本郷地域は、「火災危険



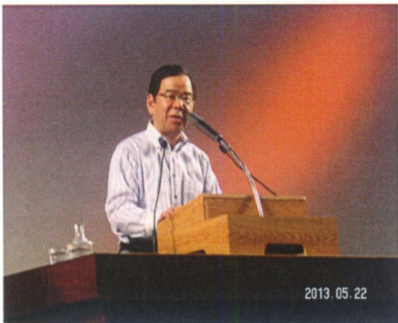
参加の申し入れをする小竹ひろ子前都議

建物自体がつぶれないようするとともに大事です。『その通りです』との返事で、初期消火の体制を日頃から訓練すること、どう

やったら火がでない町にするのか。家がつぶれなければ火が出ないわけだし、地中で腐食する危険がある白ガス管を交換できれば火災の要因を減らす事ができる。けれども、個人の力だけではむづかしいのが現状です。区や都は「個人の財産だから」といつても、耐震補強の補助をしないとか、自分の土地内の白ガス管は自費で交換しなければならぬとか、崖地の補強は所有者まかせ、というのでは震災被害を最小限にするという点でだめだと思

ひろ子かけ歩き活動日誌

22日(水)有明コロシアムの日本共産党演説会に参加しました。



演説する志位和夫委員長



志位和夫委員長の演説のDVDがありますので、視聴されたい方は、小竹事務所まで連絡下さい

※東京都地域危険度調査により火災危険度(5段階)が4以上の高いと評価された地区として、大塚6丁目、千石1・2・4丁目、千駄木1~5丁目、西片2丁目、根津2丁目、白山1・2丁目、本駒込1丁目、本郷5・6丁目、が地震の揺れで発生した火災の延焼による被害を受ける危険性の度合いが高い、とされています(「文京区耐震改修促進計画」より)